

◎事務事業の概要

事務事業名	優良雌牛導入・保留対策事業				開始年度	平成20年度	
基本目標	活力ある農業の振興				終了年度	平成22年度	
担当課(局)	産業振興課	担当係	農林畜産係	記入者	新名 修	評価者	長町 信幸
21年度決算	2,427	千円	22年度予算	2,550	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,437	千円	22年度人件費	1,457	千円	事業従事者数	0.20 人 0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	優良な雌牛の導入及び自家保留を補助することにより質の高い子牛生産の推進
事業の内容	①補助対象牛を導入(購入)する場合…導入価格の20%以内(1頭あたり15万円を上限)②補助対象牛を自家保留(評価)する場合…優等賞に選定された牛(1頭あたり15万円【定額】)。吉等賞に選定された牛(1頭あたり10万円【定額】)。その他宮崎県繁殖雌牛保留導入対策協議会において認定された牛(1頭あたり10万円【定額】)

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 補助頭数	補助頭数が増えれば、質の高い子牛生産増につながる
	2 補助利用戸数	より多くの農家の利用が望ましいことから、要綱にて“年間1戸2頭まで”と定めている。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 事業実施勧奨回数	農協の協力を得、セリ時等事業対象者に事業実施勧奨
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	補助頭数	目標値	20	18	18	
		実績値	16	18		
		達成率	80.0%	100.0%		
	補助利用戸数	目標値	戸	20	18	18
		実績値		12	13	
		達成率	%	60.0%	72.2%	
		0				
		0		#DIV/0!	#DIV/0!	
	活動指標	事業実施勧奨回数	目標値	回	16	18
実績値				16	18	
達成率			%	100.0%	100.0%	
		0				
		0		#DIV/0!	#DIV/0!	
		0				
		0				
		0		#DIV/0!	#DIV/0!	
		0				

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	高鍋・新富・木城が足並みをそろえ、20年度から実施している母牛となる雌牛増頭かつ地元保留策。児湯地域は優れた雌子牛が流出し、母牛の入れ替えが進んでいないのが現状。21年度の平均売却価格(高鍋)は去勢392,956円、雌342,735円。20年度は平均385,058円
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	優良な雌牛を導入する事で、出荷牛の品質が向上し児湯地域の市場での売買価格の上昇を図ることが出来た。また、繁殖素牛の増頭・更新が図られた。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	前述の通り、児湯農協管内三町で金額を統一しているため、削減は困難。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	特になし

事務事業名	優良雌牛導入・保留対策事業	担当課(局)	産業振興課
-------	---------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	宮崎牛の品質向上の為に血統優秀な母牛に常に更新していかなければならないので、更新意欲向上の為に必要な事業。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎口蹄疫からの復興の観点からも、継続して事業を実施すべきである。(ただし、新富・木城・農協との連携が必要か) ◎口蹄疫対策事業との兼ね合いもあるので、見合わせながら計画をしっかりと立て、方向性を検討していただきたい。
	コスト	現状維持	